

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	三島市家庭教育支援チーム
②活動拠点	三島市民生涯学習センター
③活動範囲	三島市内全域
④組織体制	<u>11 人</u> ・家庭教育支援員(通称:三島市家庭教育アドバイザー※元教員) 5人 ・家庭教育サポーター(※元三島市 PTA 連絡協議会役員等)5人 ・コーディネーター(市職員)1人
⑤活動開始年度	平成27年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 三島市教育委員会教育推進部生涯学習課 (TEL)055-983-0883 (E-mail)syougai@city.mishima.shizuoka.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒保護者等への学びの場の提供 ☐保護者等への地域の居場所づくり ☒アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒乳幼児 ☒小学生(低学年) ☒小学生(中学年) ☒小学生(高学年) ☒中学生 ☐高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ① 学校等での保護者への学習機会の提供(家庭教育講座の実施) 小中学校の家庭教育学級や懇談会等で1時間程度の参加者同士での対話式講座の実施。(静岡県教育委員会作成の家庭教育「つながるシート」を活用) ② 家庭教育相談の実施 学校が開催を希望する日及び授業参観日等保護者が学校に集まる日に、相談室等で家庭教育に関する相談を実施。 ③ PTAの主催する家庭教育活動への協力 市内小中学校のPTA家庭教育学級と連携した講座の実施。 ④ ミーティングの実施(定期的な活動打合せの実施) 月に1回程度、家庭教育支援員、家庭教育サポーター、市担当職員が、家庭教育講座の内容や教育相談について実施校の要望等に応じた実施内容の確認を行う。(シート作成、アンケート結果からの振り返り等) ⑤ アウトリーチ型の講座及び相談会の実施 子をもつ保護者が集まる『市児童センター 軽運動室』を会場に、小1ギャップを防ぐための保護者の学びの場として、未就学児の保護者対象のアウトリーチ型講座を年2回実施。また、市内ショッピングセンターを会場に、市こども未来課が主催・実施する「子育て支援フェア」に協力する形で、出張型の子育て個別相談会を実施。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	コロナ禍により、活動の場が激減してしまったが、市校長会議・教頭会議・園長会議等で働きかけ、園・学校での開催を依頼したことで、講座・相談会の実施回数はコロナ禍前に戻った。 講座では、多くの方が横の繋がりを求め、参加したことで悩みを共有したり、解決策を見つけたりと家庭教育について考える場になったという感想を多くいただいている。毎年楽しみに参加してくださるリピーターの方もいる。また、相談会では、個別のケースに丁寧に対応し、必要に応じて、関係機関等に繋ぐこともできた。 さらに、アウトリーチ型の講座及び相談会を実施することで、家庭教育支援事業についての理解が広がってきている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()